

特別委員会委員長報告

3月定例会における特別委員会からの報告を掲載します

定住人口増加促進 特別委員会

1月26日、2月23日に「都市計画について」を議題とし、質疑・意見交換を行った。

2日にわたる議論を通じて、昭和45年に土佐山田町で「市街化区域」と「市街化調整区域」に区域区分された「高知広域都市計画区域」の線引きについて、その経緯と、現在、定住人口増加を目指す中で、線引きにどのようなメリット・デメリットがあるのかについての理解は、相当程度に深まった。

しかし、「現在の線引きを維持し、規制緩和で」との意見と「独自の土地利用計画を策定して」との意見があり、委員会としての意見集約には至っていない。一方、定住人口増加促進に係る施策は他に

も多くあることから、今後の委員会では、都市計画以外の案件の協議・審査に取り掛かることとした。

意見の集約に至っていない「都市計画」の方向性については、他の案件と平行する形で「広域都市計画区域から離脱し、独自の土地利用計画を策定し、定住人口増加促進を目指す方向性」について、調査・研究を進める分科会を設け、市長等との意見交換も行いながら、委員会としての意見集約を目指すこととした。



バイカイカリソウ

行財政改革推進 特別委員会

学校給食費収納実績は、滞納繰越調定額が700万円を超えていたが、500万円台にすることができた。

保育料は、過年度滞納のある世帯は35世帯で700万円台となっていて、以前からの滞納者が額の大部分を占めている。

質疑では、現年徴収において原課との連携は取れているのか。異動の際の引継ぎが重要で、マニュアル化し、徹底すべきとの意見。

市有財産の土地建物で、旧竹串組合、さくら保育園跡地の売却説明、旧前山市管住宅跡地等の入札予定の報告。入札の現状については、「不落・不調の改善策はないか」の質疑に対し、災害関係は査定が11月、12月が多



香美市いんぷおめーしょん

く、発注が1月になり、工事が偏り、入札条件が悪い。発注時期の平準化が今後の課題と答弁。

観光協会の現状では、2千万円の融資は昨年12月に返済された。ベふ峡温泉が、「黒字化した時、委託料の見直し」の質疑に対し、人件費を抑えた中での黒字なので経営分析も

